

露地青ネギ生産技術の確立

1. 成果の要約

県内における露地青ネギの連続収穫では、「若いぶき」が収量・品質共に良好で、播種は2月上旬及び3月上旬の2回、培土に長期肥効型培土を用い、128穴又は200穴セルトレイに1穴12粒ずつ行い、定植を4月中旬及び5月中旬に行う。基肥に肥効調節型肥料を用い、追肥は20日間隔で窒素成分6kg/10a施用することで、6月～11月の連続収穫が可能となる。

2. キーワード

青ネギ、連続収穫技術、優良品種、播種時期

3. 試験のねらい

青ネギは、カット野菜や麺類の薬味など加工・業務用として年間を通して安定した需要がある。県内の生産は施設栽培でわずかに行われている程度であるが、需要が高まる中で新規作付けが期待される品目であることから、露地栽培における青ネギの連続収穫技術を確立する。

4. 試験方法

(1) 優良品種選定 (2018年度)

6品種(一部は系統)を供試し、3月8日に448穴セルトレイに1穴3粒播種し、4月27日に畝幅150cm、株間12cm、条間22cmの4条植え(10a換算22,222株)で1穴9本になるよう定植した。基肥はネギ専用S555(140日タイプ)を用い、窒素成分で20kg/10a施用した。収穫は最長葉が70cmに達したのを確認後、地際から刈り取り、3回連続で行った。

(2) 播種期と育苗管理技術の検討

1) 播種時期 (2018年度)

1月4日から1ヶ月おきに5月5日まで播種時期を設定し、448穴セルトレイに1穴4粒播種した。基肥は窒素成分で10kg/10a施用し、追肥は20日おきに窒素成分で3kg/10a施用した。収穫は最長葉が70cmに達したのを確認後、地際から刈り取り、1～3回連続で行った。

2) セルトレイの大きさ (2020年度)

2月5日に128、200、448穴のセルトレイに播種し、4月14日及び5月13日に定植した。基肥は窒素成分で10kg/10a施用し、追肥は20日おきに窒素成分6kg/10a施用した。収穫は最長葉が70cmに達したのを確認後、地際から刈り取り、各3回連続で行った。

(3) 肥培管理技術の検討 (2019年度)

3月5日に448穴セルトレイに1穴12粒播種し、5月15日に定植した。基肥は窒素成分で10kg/10a施用し、追肥は20日おきに窒素成分1.5、3、6kg/10aをかん水チューブで施用した。収穫は最長葉が70cmに達したのを確認後、地際から刈り取り、各3回連続で行った。

5. 試験結果および考察

- (1) 本県における青ネギ連続収穫に適する品種として、収穫を重ねても収量低下が少なく、安定した収量性を示し、葉色の濃い「若いぶき」を選定した(表-1)。
- (2) 1月から3月に播種することで7～10月の連続収穫が可能となり、特に2月上旬播種では3回収穫が可能であることが示された(表-2)。また、4月及び5月定植ともに128穴が最も収量が多く、セルが大きい方が多収となり、定植時期については、4月中旬と5月中旬定植を組み合わせることで6月から11月まで連続して収穫が可能になることが明らかとなった(表-3)。
- (3) 露地青ネギの連続収穫には、20日間隔で窒素成分6kg/10a施用が適すると判断した(表-4)。

(担当者 研究開発部 野菜研究室 人見秀康、堀江收一*、青莉紗子*) * 現下都賀農業振興事務所

表-1 収穫時の生育 注

No.	品種 又は系統	草丈 (cm)	葉鞘径 (mm)	葉幅 (mm)	葉色 (SPAD)	調整重 (g/株)	一本重 (g/本)	換算収量 (t/10a)
1	ふくいち葱	54.9	7.6	12.7	20.6	137.7	15.9	9.2
2	竹千代	52.8	7.9	13.7	22.5	151.7	17.5	10.1
3	若いぶき	56.0	8.1	13.2	22.6	162.7	18.8	10.8
4	ブラックアロー	54.4	7.9	13.5	21.0	143.7	17.1	9.6
5	MKS-N501	56.3	7.9	14.3	22.2	157.0	18.9	10.5
6	鴨頭	56.5	8.0	13.0	20.2	141.0	17.2	9.5

注 換算収量は、3回収穫の合計値を22,222株/10aで算出、それ以外は収穫ごとの平均値。

表-2 播種時期ごとの収穫回数、生育及び収量（品種：スーパー九条）

No.	播種時期	定植日	収穫日	収穫間隔 (日)	草丈 (cm)	葉鞘径 (mm)	葉幅 (mm)	調整重 (g/株)	換算収量 (t/10a)
1	1月4日	4月9日	①7月1日	83	58	74	159	111	25
			②8月20日	50	56	69	134	113	25
2	2月4日	4月18日	①7月1日	74	57	73	153	103	23
			②8月20日	50	57	73	123	102	23
			③10月24日	65	50	59	107	108	24
3	3月5日	5月8日	①7月22日	75	60	80	156	135	30
			②10月24日	94	52	64	104	121	27
4	4月17日	6月11日	①9月3日	84	52	74	118	104	23
5	5月5日	6月11日	①9月30日	111	53	72	119	97	21

表-3 セルトレイの大きさが生育と収量に及ぼす影響（品種：若いぶき）

No.	定植	処理区	収穫間隔 (日)	草丈 (cm)	葉鞘径 (mm)	葉幅 (mm)	調整重 (g/株)	換算収量 (t/10a)
1		448穴	61.0	55.1	7.5	14.9	166	10.6
2	4月	200穴	59.0	57.4	7.6	14.7	189	12.1
3		128穴	59.0	55.8	7.8	14.6	209	13.4
4		448穴	67.3	57.1	7.7	13.8	172	11.0
5	5月	200穴	67.3	56.4	8.0	14.0	176	11.3
6		128穴	67.3	54.2	8.4	14.8	220	14.1

表-4 追肥量の違いが生育と収量に及ぼす影響（品種：若いぶき）

No.	1回ごとの 追肥量	収穫日	収穫間隔 (日)	草丈 (cm)	葉鞘径 (mm)	葉幅 (mm)	調整重 (g/株)	換算収量 (t/10a)
1	1.5kg/10a	①10月10日	148	460	8.4	13.2	130	29
2	3.0kg/10a	①10月10日	148	564	9.7	15.0	197	44
3	6.0kg/10a	①7月29日	75	468	8.4	14.7	158	35
		②10月10日	73	570	8.7	13.9	194	43